

第41号 (2017-9月発行)

根郷 寿だより



発行 佐倉市立根郷公民館

〒285-0815 佐倉市城 343-5

☎ 043-486-3147 FAX 043-486-3686

E-mail negou-public@city.sakura.lg.jp

編集 根郷寿大学・根郷寿だより編集委員会

29年度開講・展望について

会長 樹村 光雄

本年度も多数の方々元気な姿を拝見し、一堂に会しました事は誠に喜びに堪えません。

「根郷寿大学」は歴史ある大学である事は皆様周知の通りです。昨年副班長会議の中から傾聴に値する事がありました。

班活動の発表も活動予定表を開示し情報公開をしては如何か？又、



各人各様の趣味を生かした「サークル」の立ち上げを発表して、お仲間を造る事は如何か？等々活発且つ建設的な意見が吐露されました。

横断、縦断的に対応するのもメリットがあるのではないのでしょうか。

皆様は地域でのボランティア、民生委員、福祉委員、自治会の役員等多忙な事は重々わかっておりますが、然し「忽忙閑あり」と言う事もあり

ますので、何とご理解、ご支援等頂き乍らこの一年を充実あるものにするべく、密接にコンタクトを取り乍ら、又、交流を図り乍ら、信頼関係を築いて行くようではありませんか。

サツマイモの花

二班 直江 国雄

実りの秋、収穫のうれしい季節です。栗やくだもの、サツマイモなど食欲を二層楽しくさせてくれます。その中で「サツマイモ」は子供から大人まで、いも掘りとそして口にする時；しつとりと軟らかくあの香りや甘さは、昔も今も変わらぬ人気食品の一つでしょう。このサツマイモは16世紀に中央アメリカ原産で薩摩藩（現鹿児島県）へと伝わり県の特産品サツマイモと呼ばれるようになりました。

このサツマイモは、ヒルガオ科のつる性の植物で、根に養分がたまり大きく膨らんだ部分を食用にします。

そこで同じ科のアサガオの苗を

サツマイモ（台木）に接ぎ木し品種改良が更にはアサガオの花には丸咲牡丹咲、桔梗咲等ありますが丸咲を選んだ（理由、漏斗じょうご形

の花は花粉が虫につきやすい）ことで大きな研究成果につながりました。

花をよく見るとサツマイモと朝顔は同じ丸形をしています、しかし涼しい気候の地方ではめったに花が咲きません、皆さん（サツマイモの花）見たことありますか？私はサツマイモを毎年少々ですが種類をかえ作っていても今までに2回しか見たことがあります

ません、九州以南沖縄の方は見えておられると思います。最近品種がいろいろ早



期に紅東が次に紅小町、紅はるか、金時、又、安納いも、蜜いも、紅いも、そしてシルクスイート、パープルスイートなどが回り増えてきました。戦中生まれの私は、大変な食

糧難でしたので、サツマイモが主食の事もあり又、いもつるの皮をむき、ご飯や汁に、魚にはきやらふき風、佃煮として食べた記憶もあります。

最近小学校で学年別一年生は（サツマイモ）を植えて観察するとか又幼稚園では秋に芋掘りの計画が入っているようです、いもご飯や天ぷら、きんとん、おやつにはふかし芋、大芋いも、焼きいも袋菓子、干しいも、外食のレストラン会食時に高級食品の一部としてデザート、ケーキなどにも、今後どのようなスタイルで出てくるか楽しみです。

ところで朝日新聞社主催で毎年十月に地球環境フォーラムが東京で開催され、私も参加しております。特に地球温暖化等による環境変化、食物流通に関心を持って拝聴、百年間で日本の平均気温は一度上がり、温度に敏感な植物野菜の生育に乱れが、又果物の花つきや色付きが早いなど食に異変、一部種類によっては地産移動もあり、生産者に大きな負担となっているようです。

消費者我々も今一度、水をはじめ食物の大切さ無駄をなくす小さな事から見直し、日進月歩新食品の出荷、旬の物を食べる、生産者の負担軽減、両者一体となって真剣に考える時が来ており、その上でより楽しい食生活ができるよう願うばかりです。

（朝日地球環境フォーラムが朝日地球会議に変更となりました。）

2016年より

おばあちゃんの生きがい

元寿大学生 廣吉 正毅

かつて勝浦の朝市で出会ったおば

あちゃんに耳寄りの話を聞いたことを思い出した。



この朝市は、歴史があり規模も大きくて

地元の野菜や海産物などを売っていた。店では売り子が大声で客を呼び込み、まわりは人だかりができて活気に満ちていた。

ふと、見ると布切れを広げ、その上に雑貨を並べ売っているおばあちゃんがいた。私はさそわれるようそちらに足を向けた。

そこに着くとおばあちゃんは私に笑顔を向けどちらからと、話しかけてきた。そして手にした品物を見せ、これは手作り、海に出かけた漁師の無事をお祈りする遭難除けのお守りだよ。この土地に古くから伝わる珍しいものだ、説明してくれた。

おばあちゃんと話をしているうちに、冷たい氷も溶かしてしまいうような、何ともいえない温かさに私はひきつけられた。ちよつと気がひけたがそのわけを尋ねてみた、するとおばあちゃんは戸惑ってようすをみせ、ほかに客がいなくなつてから話をしてくれた。

曰く、年寄りだからといって家に閉じこもつてばかりではいけない。外に出ておてんとうさんに当たり人と話をする、どうにもならない事はくよくよ考えない。気を長く心はまろく腹を立てない、そうすれば自然

と若返り元気になれるそうだ。まさにその通りだ。

外で話をすると言っても年寄りには気疲れすることもあるだろう。ところが、おばあちゃんは市場で商売をしている。このせいでどうせん客と自然に話をすることになる。こうしたふれあいが生きがいになったと思う。

私は、わがままと頑固で家内に注意され、今さらでもないが反省している。あのとき朝市で出会ったおばあちゃんは、今も達者でいるだろうか。なぜか昔の事が思いだされた。老後は前を向き人生に張りをもって生きるこの大切さをあらためて感じた。

昨年、班長を引き受けて

元寿大学生 木村 宏

私は班長になる時、私は何もやらない班として通すなら受けると言った。その為、他班の様に・・食事会・・見学・・旅行等々の企画は作らなかつたし作る気もない。寿大のやるこ

とは集った人々の中から出て来るものがベストで私は率先してそれをあえてやらずに皆の反応をみている。

すると十二月頃に・・・に行こうよ・・・にこんな情報等があると云う話が出る様になってきて、それこそが良い事の様な気がするので、これで良いと思っている。

寿大生は私より充分経験した人が多く、誰かの企画にただ乗って過ごす様なものでなく皆の話の中から自分達で考えて行動するのが寿大生の大きな存在意義ではないかと考えている。

続・人生のマラソン（その三）

四班 齋藤 たかし

平成二十九年に入り数か月が経過しましたが、相変わらず様々な情報が入り世間を賑わしていますね。

私は昭和十二年四月秋田市で生まれ、暫くして東京荻窪に転居しました。その年に、日中戦争が勃発した事は特に後期高齢者の皆様はご承知の事と思います。発端はその年の

七月、日本軍の演習中のミスで発砲が鳴り響き中国軍に刺激を与え拡大してしまいました。

北京の西側、永定河にかかる古橋が盧溝橋であり、以来歴史上の大事件として名を残すことになりました。



そして昨年来国の前大統領オバマ氏とロシアのプーチン大統領が相前後して訪日しましたが、昭和十六年の太平洋戦争はパールハーバー（真珠湾）も日本軍が仕掛けたと伝えられています。

又、ロシアとは北方四島の領土問題で揺れています。私達一般庶民が口を挟む余地はないのでしょうか。その日中戦争と太平洋戦争の真つ只中を東京で過ごし幼心に戦争の悲惨さを経験しました。

今でも花火大会で花火が打ち上げられ、上空で開いて落下する時に思い出してしまふのは、空襲警報の

最中、B-29爆撃機から落下した焼夷弾は、まるで花火が開くのを逆さまにした光景に思えるのです。

前号「私の人生観」にも書きましたが、戦争は真つ平です。他人と争うのはスポーツの上での競技と、子供達から大人も参加する運動会、それに楽しみながら行う各種のイベントだけにして頂きたい、と思っています。

流通革命！

六班 原田 渉

長年親しんで利用した千葉三越が撤退。百貨店の競争が厳しく残念でならない。

一方ではJR千葉駅の改造に伴い「ペリエ千葉エキナカ」の3F～4Fにこの春オープンした。コーヒー店など四十八店舗、4Fカフェ、飲食店舗など営業を開始している。駅とつながり大変便利になって調法だ。今秋にはペリエ千葉（2F～7F）にファッション・雑貨・レストラン・屋上庭園などがオープンするので期

待したい。



日本の中心地東京銀座六丁目に「Ginza Six」旧銀座松坂屋跡地にオープンした大型ビルは地上十三F、地下三F。七F、十二Fはオフィス

フロアー。六F、地下三Fの店舗を合計すると実に二百六十七店に及ぶ。世界各国のブランド店、レストランフロアー各階に専門店など……。現在は連日、外国人の観光客で賑わっている。時には現在中央通まで長蛇の列。間口は百五メートル、奥行は百メートルと巨大ビルに圧倒される。

都内に出る機会がありましたら一度立ち寄って見たら如何でしょうか。目の保養になります。

紫陽花鑑賞記

平成二十六年度四班有志

六月の或る日梅雨の晴れ間でした。

宗吾霊堂の紫陽花園へ数人が二台の車に分乗して直行した。

丁度紫陽花祭りが開催されていたこともあり園内は賑やか、私達も本堂にて参拝の後ゆっくり歩きで鑑賞した。

紫陽花の種類は様々あり、紫色や青の他白色系が目立っていた。所在地の「成田市の花」でもあり見事である。(因みに成田市の木は梅)

お昼は近くのうどん店で舌鼓を打ちながら懇談した後、帰途についた。合わせて三時間程度の行動は、

二十六年度四班いもの会(こんにやく芋)の集いでした。(現二十九年度根郷寿大生数人も含まれている)



寿シルバー川柳

七班 山城 安男

一言が笑いに変わったまだら顔

的を得た嘘も方便お家芸

・古い仲間生きる絆も有卦に入る
・探る場に起きて待つ人説聞かせ
・なんだっけ行くも帰るも自問する



会員募集(平成三十年度)

「ねごう歩こう会」

・毎月一回(八月を除く)第二火曜
日午前中、健康目的で散策活動。

※レクリエーション保険と資料代として(年四百円〜五百円程度)を三月に徴収します。

※氏名・生年月日・住所・電話番号を明記(メモ用紙で可) 一月十日より根郷公民館で受付け・先着五名迄

・事前に入会希望者はオープン参加を認めます。スタート時間と集合場所は時期により異なるので左記にお問い合わせ下さい。

世話人・斎藤 (090-8354-2906)

編集後記(敬称略)

根郷寿だよりも第四十一号発行となりました。投稿いただきました各位に御礼申し上げます。次号の投稿に積極的にご協力下さい。

五月十九日の開講式で公民館職員の見学紹介がありました。左記の通りです。(発令は四月一日付)

根郷公民館

館長 櫻井 理恵(新任)

副主幹 舎人 樹夫(新任)

学芸員 松田 富美子

主任事 尾形 弥生

戸田 さよ子

根郷寿大学役員

会長 樹村 光雄

副会長 福久 伍一

副会長 國見 美子

根郷寿だより編集委員会(順不同)

齋藤 雄 吉野 強三郎

山城 安男 原田 涉

阿久津 晃作